

令和元年度 広島県内緩和ケア病棟の利用状況について

広島県 健康福祉局 がん対策課

1 趣旨

県では「第3次広島県がん対策推進計画（平成30（2018）～令和5（2023）年度）」に基づき、施設緩和ケアの充実に向けた取組として、県内の緩和ケア病棟の利用状況や運用状況等の実態を把握するために「緩和ケア病棟運用状況調査」を実施している。

この度、令和元年度分の調査結果を取りまとめたので、以下に報告する。

2 調査の概要

(1) 対象機関

県内緩和ケア病棟を有する医療機関 12施設（病床数212床）

病院名	所在地	緩和ケア病棟 認可病床数	備考
シムラ病院	広島市	17	
広島赤十字・原爆病院	広島市	19	R元.12月～
JR広島病院	広島市	20	H28.2月～
県立広島病院	広島市	20	
広島パークヒル病院	広島市	18	
広島共立病院	広島市	19	H26.10月～
安芸市民病院	広島市	20	
呉医療センター	呉市	19	
公立みつぎ総合病院	尾道市	6	
福山市民病院	福山市	16	
前原病院	福山市	14	
廿日市記念病院	廿日市市	24	

(2) 調査期間

平成31年4月1日～令和2年3月31日

(3) 回収率

100%（12/12施設）

3 調査結果

(1) 入棟患者の状況

令和元年度に緩和ケア病棟に入棟した患者は、1,864人であった。年代別では、60代以上の割合が約90.1%だった。また、原発部位別では、肺がんが17.7%と最も多く、次いで胃及び食道がんが15.1%、大腸がん13.1%、膵臓がん10.6%の順に多かった。また、居住地別では、居住地と同圏域にある施設に入棟している方が約87%であった。

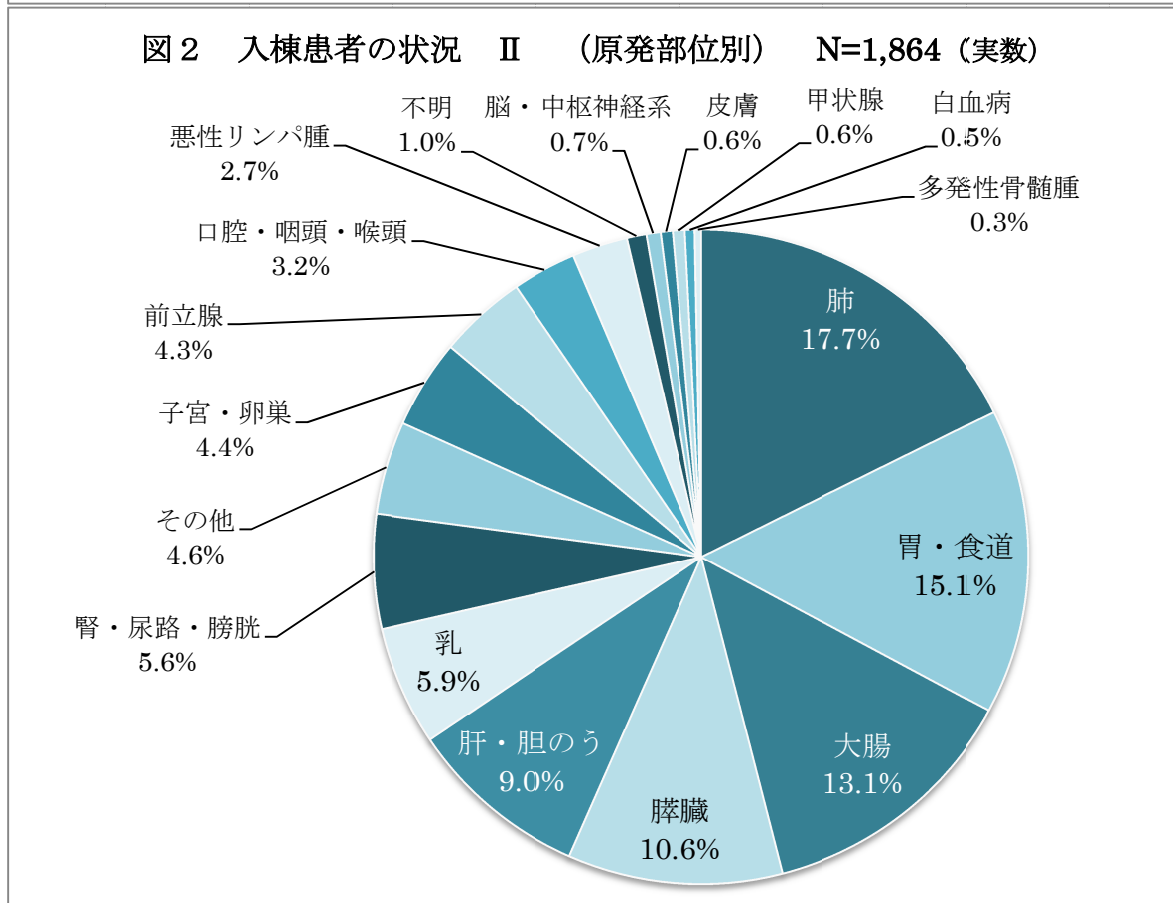
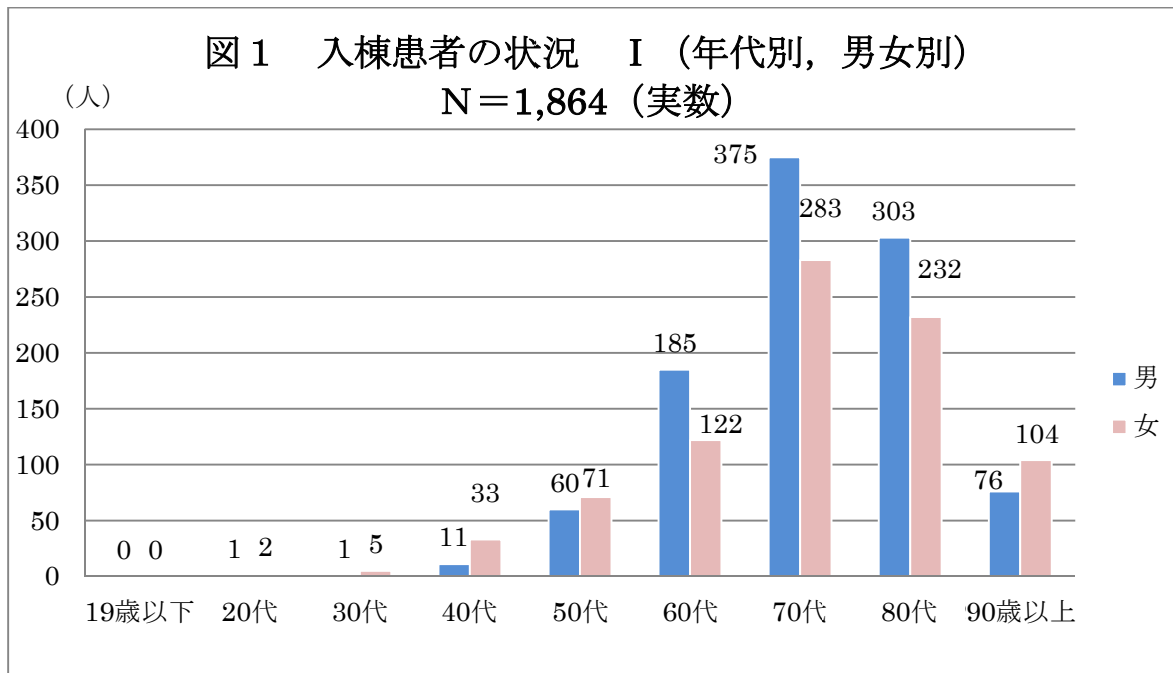


表1 入棟患者の状況 Ⅲ（居住地・施設所在地別，実数）

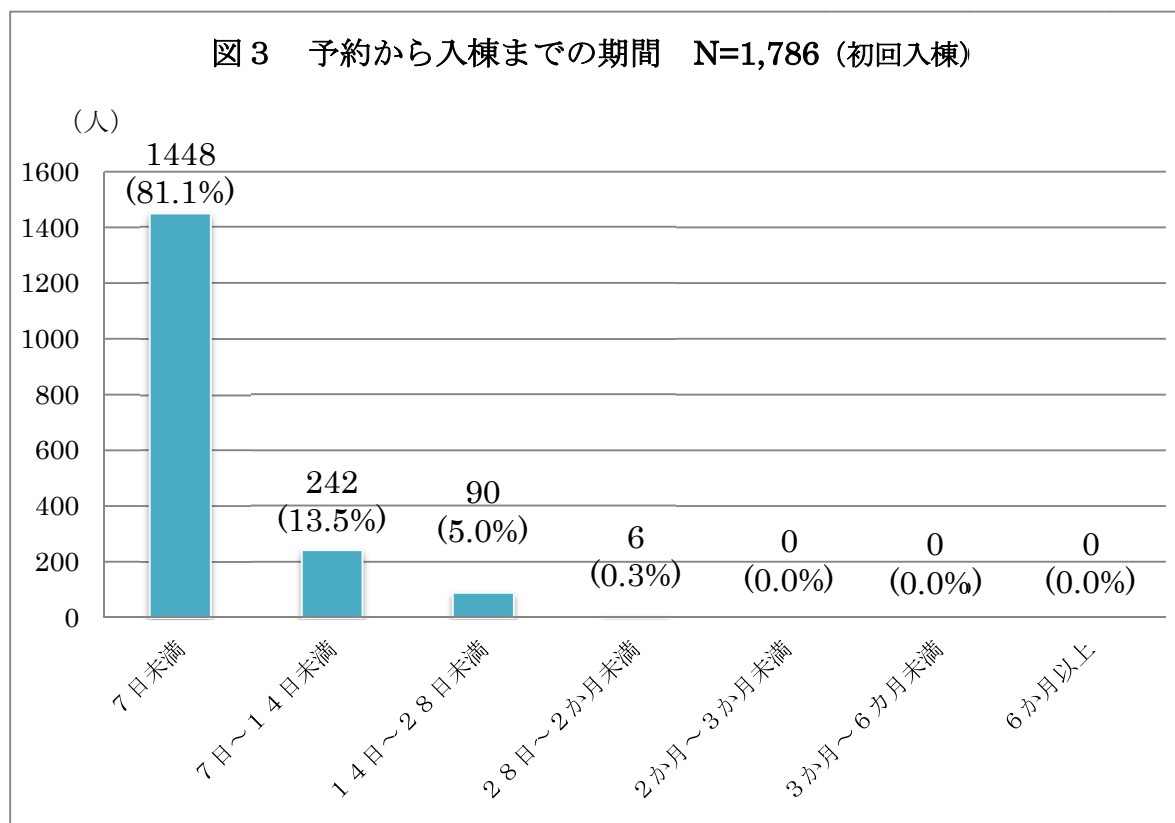
二次保健 医療圏域	居住地別 患者数	施設所在地別 患者数				
		広島 (広島市内)	広島西	呉	尾三	福山・府中
広島(広島市内)	1,040	994	45	1	0	0
広島(広島市以外)	143	135	2	6	0	0
広島西	103	20	83	0	0	0
呉	151	24	0	127	0	0
広島中央	61	48	1	11	0	1
尾三	83	4	0	0	67	12
福山・府中	240	4	0	0	15	221
備北	6	3	0	0	1	2
県外	37	13	5	0	1	18
合計	1,864	1,245	136	145	84	254

(2) 入棟患者の予約から入棟までの期間

初回入棟患者の入棟の予約から入棟までの期間は、14日未満が全体の94.6%であった。

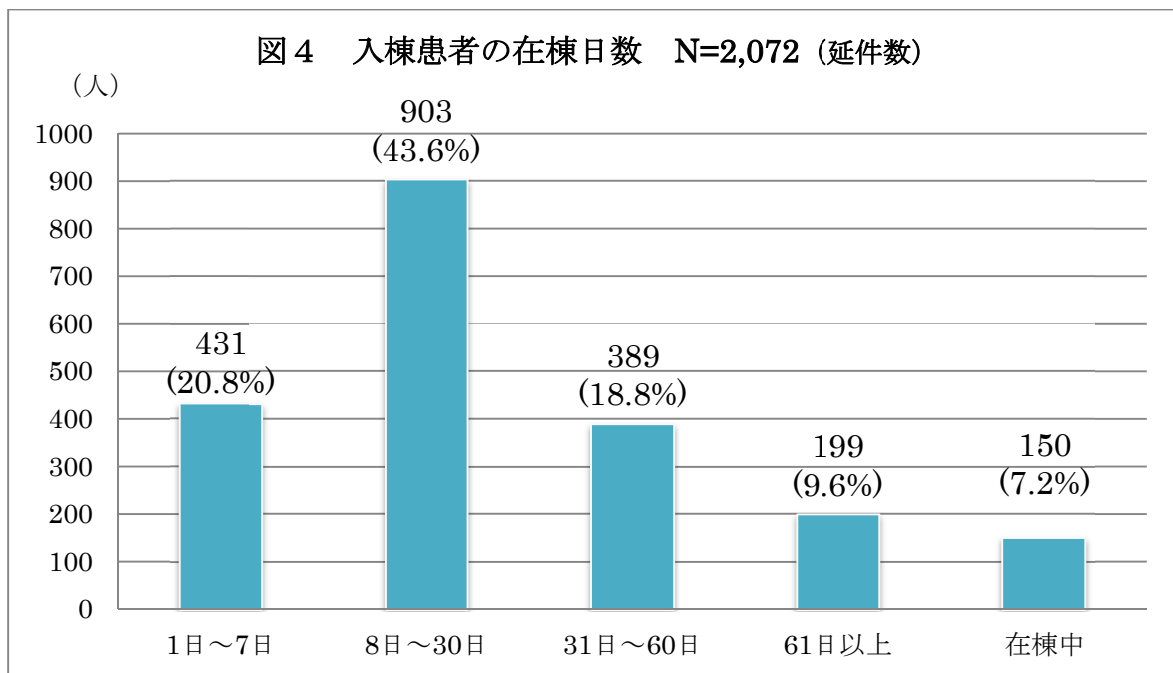
また、28日以上については、全体の0.3%であった。

※「入棟の予約から入棟までの期間」は各施設の基準による。



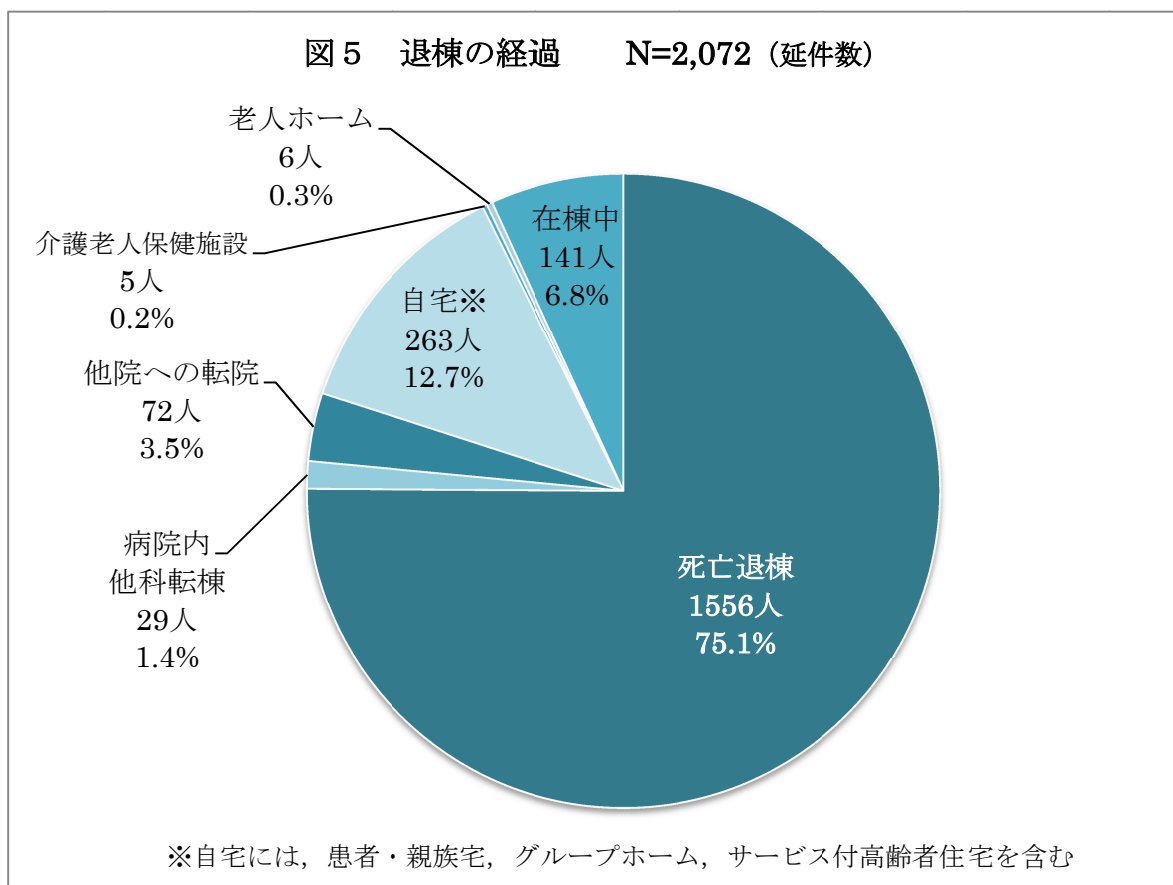
(3) 在棟日数

入棟患者の1回の入棟に係る在棟日数は、30日以下が全体の64.4%であった。



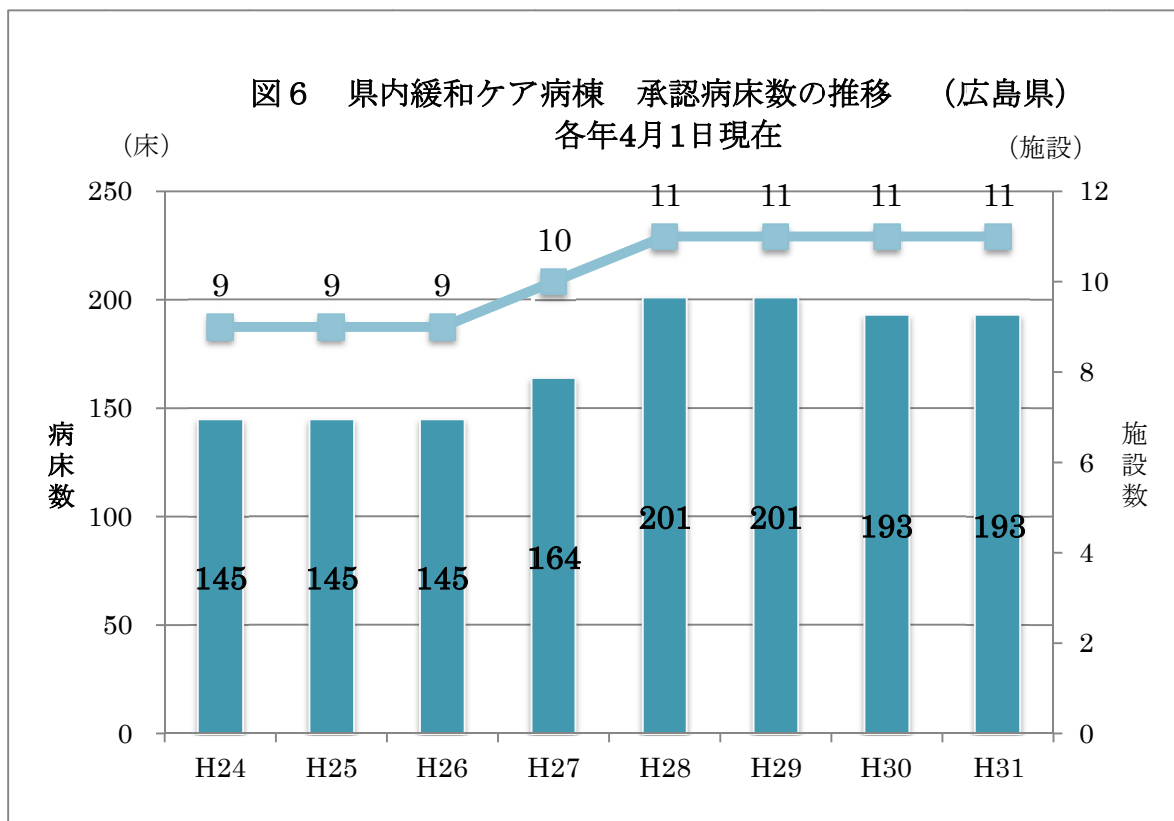
(4) 退棟の経過

退棟の経過については、死亡退棟が全体の75.1%と最も多かった。また、在宅（自宅、介護老人保健施設及び老人ホーム）への移行は、全体の13.2%であった。



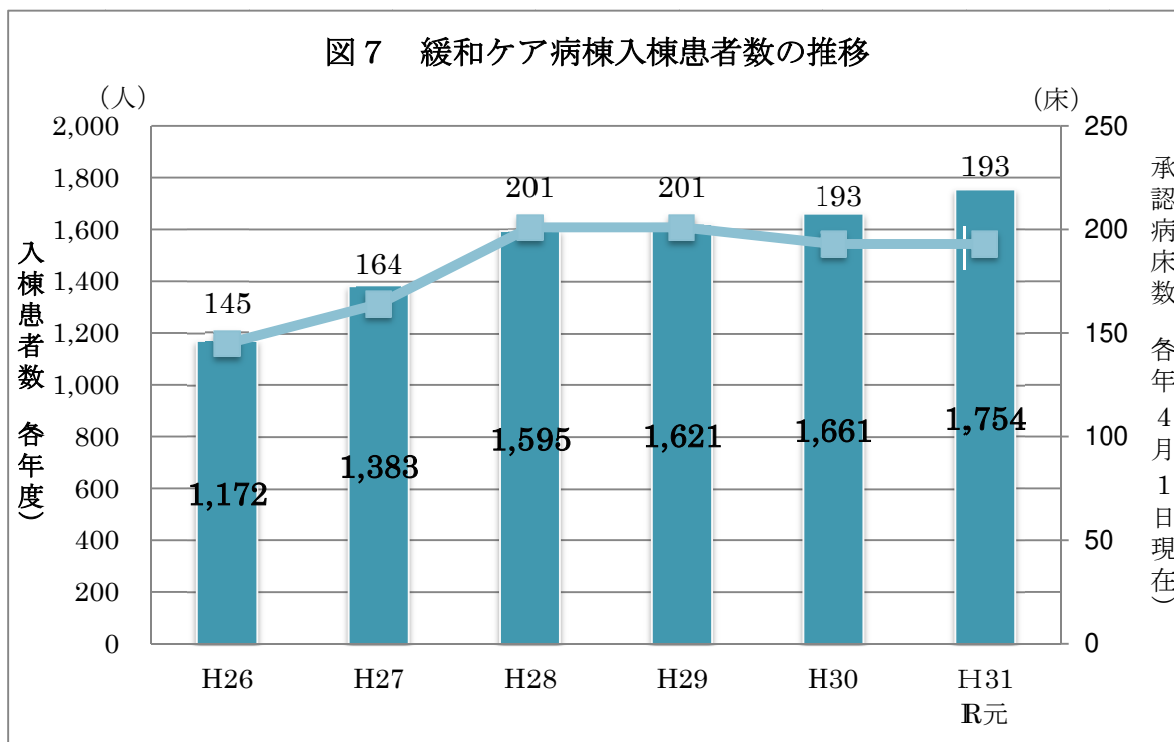
(5) 緩和ケア病棟承認施設数・病床数の推移

緩和ケア病棟を有する施設数については、増加している。



(6) 入棟患者数の推移

入棟患者数については、平成 28 年度までは、承認病床数の増加に伴い年々増加し、平成 29 年度以降は比較的ゆるやかな増加にとどまっている。



※平成 26 年 10 月 1 日から、広島共立病院の病棟開設により 19 床増
 ※平成 27 年 7 月 1 日から、廿日市記念病院の病床数変更により 17 床増
 ※平成 29 年 6 月 1 日から、廿日市記念病院の病床数変更により 8 床減

(7) がん死亡者数の状況

がん死亡者のうち、約 84%の方が病院で亡くなり、そのうち約 22%の方が緩和ケア病棟で亡くなっている。

